


東吾妻町

# 社協だより

第8号

平成27年5月20日発行

編集発行／社会福祉法人 東吾妻町社会福祉協議会  
〒377-0802 東吾妻町大字川戸233番地(本所)  
Tel.0279-68-2772 FAX0279-68-0051  
〒377-0303 東吾妻町大字新巻320番地4(東支所)  
Tel.0279-59-3266 FAX0279-59-3207

 この広報誌は、赤い羽根募金の助成を受けて発行しています。



## マジックにビックリ!!

1月16日、デイサービスセンター水仙に渋川マジックサークル(代表 飯塚衛一様)のみなさんが訪れ、マジックを披露してくれました。

利用者も一緒に参加して、不思議な体験をすることができました。

# 平成27年度 東吾妻町社会福祉協議会 事業計画・予算

## 一般会計

収入 (単位:千円)

会費収入	2,232
寄付金収入	2
経常経費補助金収入	39,440
受託金収入	5,374
事業収入	358
負担金収入	4,277
介護保険事業収入	151,105
障害福祉サービス等事業収入	2,897
受取利息配当金収入	6
その他の収入	215
事業区分間繰入金収入	305
拠点区分間繰入金収入	6,798
サービス区分間繰入金収入	1,840
<b>収入合計</b>	<b>214,849</b>

支出

人件費支出	151,321
事業費支出	27,813
事務費支出	10,729
分担金支出	930
助成金支出	5,062
負担金支出	845
その他の支出	50
固定資産取得支出	500
基金積立資産支出	5
積立資産支出	3
拠点区分間繰入金支出	6,798
サービス区分間繰入金支出	1,840
その他の活動による支出	8,953
<b>支出合計</b>	<b>214,849</b>

重点目標 . . .

- 1 財源の確保と財政の健全化
- 2 地域福祉活動の推進
- 3 介護保険事業の安定的推進
- 4 ボランティア活動の支援

主要事業 . . .

(1) 運営基盤の整備

- ① 組織体制の充実・強化
- ② 自主財源の確保
- ③ 広報啓発活動の推進

(2) 地域福祉の推進強化

- ① ボランティア活動の支援強化
  - ・ボランティア連絡協議会の設置、運営
  - ・ふれあいサロン活動の支援
  - ・住民参加型在宅福祉サービスの定着促進
- ② 福祉対策事業の充実・強化
  - ・生活困窮者自立相談支援事業の実施
  - ・生活福祉資金貸付事業の実施
  - ・紙おむつ購入補助事業、福祉バス事業等の実施
  - ・給食サービス事業、一人暮らし高齢者保養事業等の実施
- ③ 共同募金配分金の効果的活用
  - ・歳末たすけあい募金、赤い羽根募金事業の実施

(3) 介護保険事業等の推進

- ① 介護保険事業の安定的推進
- ② 居宅介護、訪問介護、訪問入浴、通所介護の実施
- ③ 障害福祉サービスの実施



## 公益事業特別会計(シルバー人材センター)

収入 (単位:千円)

会費収入	97
経常経費補助金収入	109
受託金収入	5,308
事業収入	25,996
負担金収入	60
その他の収入	1
<b>収入合計</b>	<b>31,571</b>

支出

人件費支出	3,449
事業費支出	25,701
事務費支出	2,116
事業区分間繰入金支出	305
<b>支出合計</b>	<b>31,571</b>

主な活動方針 . . .

(1) 会員の確保

- ・社協広報紙等を活用したPRの実施

(2) 就業先の開拓と就業機会確保の支援

- ・機関紙発行等による依頼者の確保
- ・初心者向け講習会等の実施

(3) 安全・適正な就業の推進

- ・安全就業に係る会員向け講習会等の実施
- ・事故対策・健康管理に関する情報の積極的提供
- ・事故防止への積極的取り組み



# ボランティア連絡協議会を設立

4月13日、町社協が中心となり、懸案であった東吾妻町ボランティア連絡協議会を発足いたしました。この連絡協議会は、福祉ボランティアに限らず、町内で活動する様々なボランティア団体の集まりとなります。会員（加入団体）相互の情報交換や、交流・親睦を深め、ボランティア情報を共有できるネットワークの構築を目指します。

本年度の事業としては、各団体の活動紹介や加入PRを目的としたふれあい広場（仮称）の開催を計画しております。設立時の入会団体は7団体ですが、今後さらに加入促進を図り、会の充実に努めます。

町内で活動するボランティア団体で加入に興味のある団体は、町社協までお問い合わせください。

☎68-2772  
担当…平尾

東吾妻町ボランティア連絡協議会加入団体及び役員

団体名	代表者名	役職名
① ボランティア会やまぶき	茂木つる江	会 長
② 東吾妻町観光ガイドボランティアの会	山野 彊	副 会 長
③ 奏・オカリーナ	石田かをる	書記会計
④ 東吾妻町民生委員児童委員協議会	朝比奈文作	監 事
⑤ 東吾妻町婦人会	児玉美代子	監 事
⑥ 東吾妻町更生保護女性会	高平満里子	
⑦ 読み聞かせ「パレット」(岩島地区)	小池 久子	

## 生活困窮者の自立を支援します。

生活困窮者自立支援法が平成 27 年 4 月から施行され、群馬県社会福祉協議会が生活困窮者自立支援事業を実施しております。この事業は、就労その他の自立に関する問題について相談に応じ、一緒に考えながら継続的に必要な支援を行うものです。

相談等がありましたら、町社会福祉協議会、または群馬県社会福祉協議会生活支援課までお問い合わせください。

町社協  
☎68-2772  
県社協生活支援課  
☎027-212-0011

### 失業等で生活にお困りの方の 支援を行う相談窓口のご案内

経済的な悩みとともに、日々の生活で悩みがあるが  
誰に相談すればいいのか、どこに行けばいいかわからない…

おひとりで悩まずに気軽にご相談ください  
あなたのその悩み、いっしょに解決しましょう

多重債務  
**生活**  
貧困 家賃滞納

リストラ 資格取得  
**失業**  
就労活動

家庭崩壊  
**家族**  
ひきこもり 教育問題

パワハラ 就労環境  
**しごと**  
対人関係







## 福祉教育実施 in 原町小学校

2月4日、東吾妻町立原町小学校において、県社会福祉協議会、県共同募金会、町社会福祉協議会による福祉教育（赤い羽根教室）を実施しました。この福祉教育は、原町小学校5年生36名を対象に、赤い羽根募金の仕組みや、社会福祉協議会の紹介などをした後、ブラインドウォークや車いすの体験をしました。



▲アイマスク体験

2人組になり、アイマスクを使用し、片方の生徒がサポートをしながら階段などの日常生活の一部を実際に体験しました。また、車いす体験では、車いすの名称や基本的な扱い方、介助の方法を学んだ後、普段歩いている場所を車いすで移動することで、不便な場所や危険な個所に気づきました。改めて当事者の気持ちを考えていただく時間となりました。



▶車いす体験



▲ブラインドウォーク

## ひとり暮らし

### 保養事業を開催



▲健康体操

町内65歳以上のひとり暮らしの方を対象に、親睦と交流を深めてもらうと11月27日、コニフアーいわびつを会場として1泊2日の保養事業を開催しました。この事業は、町からの委託を受け実施しており、今回は27名の参加となりました。当日は、県レクリエーション協会より理事長の高橋良枝先生をお招きして健康体操を教えてくださいました。身体の健康だけでなく、頭の健康も考慮したゲームなども取り入れ、皆で楽しく自然に体を動かすことができました。続いて吾妻警察署員による講話があり、昨今増加している高齢者の交通事故や詐欺被害についての予防方法等を学びました。研修会後の夜の懇親会では皆で盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。

### 赤い羽根共同募金配分金

ご協力ありがとうございました。

群馬県共同募金会東吾妻町支会より平成26年度一般募金配分金722,562円（平成25年度募金分）を受配し、下記の2事業を行いました。

- ふれあいサロン助成事業（500,000円）
- 社協だより発行事業（222,562円）

### 歳末たすけあい募金

平成26年度歳末たすけあい募金額は982,466円となり、下記のとおり歳末事業を行いました。

- 歳末慰問事業（543,439円）
- ひとり暮らし保養事業（96,252円）
- 若年母子ふれあい交流事業（50,000円）

残金292,775円は今年度、社協だより発行事業等に使用させていただく予定です。



# 助成を受け ヘルパー車を購入



▲東支所へ配備したヘルパー車

2014年度、日本財団福祉車両助成事業の助成を受けてヘルパー車を購入し、東支所へ配備しました。

これにより、車両購入額の約6割の助成を受け購入することができました。社協の公用車も15年以上使用している車両が何台かありますので、このような事業を利用して、順次入れ替えを行っていきま

## H27年度

### ボランティア保険のご案内

町社協ではボランティア活動保険の加入を受け付けています。ぜひ、ボランティア活動保険に加入してからボランティア活動に参加しましょう。

ボランティア活動中のさまざまな事故によるけがや損害賠償責任を補償します。



#### 年間保険料

基本タイプ	Aプラン	300円
	Bプラン	450円
天災タイプ	Aプラン	430円
	Bプラン	650円

※年間を通しいつでも保険への加入は出来ますが、補償期間は当年度3月末日迄となります。途中で加入する場合でも、掛け金は同額です。※申込の際は印鑑をご持参ください。

☎68-2772 担当：町田

### ▼下之町ふれあいサロンのみなさん



〔代表 唐澤 静江〕  
区民の方からの強い要望で「下之町ふれあいサロン」が誕生しました。初回の参加者は、協力者を含めて20名。お弁当とお茶菓子を用意し、経費は社協からの助成金で賄えました。  
区長の挨拶で始まり、昼食・お茶飲み・お喋りを交え、今後の内容について話し合いました。みんなの「楽しかったよ」との声に安堵しました。これからも続けていくことで、サロンが憩いの場となり話題となつて、参加者が増えるよう努力していきたいです。

## 下之町ふれあいサロン

## サロンの紹介



▲細谷げんきサロンのみなさん

〔代表 小池あさ子〕  
「元気は細谷、細谷は元気」また、この地区の県道にげんき橋があることから「細谷げんきサロン」と命名しました。  
月に一回開催し、20〜23名が参加します。ぼけない小唄など、他5曲を大声で歌って始まり、次に骨盤・軽体操で汗をかき、時には講師の方を呼び、お話を聞いたります。「細く、長く、無理なく」を目標に、後継者の誕生を期待しながら活動しています。

## 細谷げんきサロン



# ボランティア会やまぶき

ボランティア会やまぶき（茂木つる江会長 会員 165名）では、デイサービスセンター水仙・すこやかセンター福寿草におけるボランティア活動や配食ボランティアなど、東吾妻町社会福祉協議会が実施する事業の協力を行うほか、独自で研修会やイベントなども開催しています。

今年も昨年度に引き続き、「ふれあい広場」と「ふれあい料理教室」を開催しました。

## ふれあい広場

2月28日、東吾妻町コンベンションホールにおいて、「ふれあい広場」を開催しました。

この広場は、昨年度に引き続き、東日本大震災の影響で復旧復興のボランティア活動を行っている南相馬市災害復旧復興ボランティアセンターの支援や、一般町民へボランティアへの積極的な参加意欲の増進を促すことを目的に開催しています。

会場内では、募金箱の設置や手作りで小物づくりができる体験コーナー、ポップコーンやなめこ汁の無料配布などを行い、たくさんの方で賑わいました。後半はステージ上でGuZu（高橋豊一氏:東吾妻町小泉在住と栗田喜弘氏:埼玉県深谷市在住）によるコンサートを披露していただき、来場者を楽しませてくれました。

ふれあい広場募金額 金26,525円

皆様からいただいた温かい募金は、福島県南相馬市社会福祉協議会へ全額寄付しました。ご協力、大変ありがとうございました。



▲小物づくり



▲GuZuによるコンサート

## ふれあい料理教室



▲手話で料理

3月27日、東吾妻町農村環境改善センター調理実習室において、「ふれあい料理教室」を開催しました。

この料理教室は、聴覚障がい者と一般町民と一緒に料理や試食を通じて、聴覚障がい者とコミュニケーションを図るほか、障がいについての関心と理解を深めていただくことを目的に開催しました。

当日は、手話通訳者・栄養士含め18名の参加者のもと、鶏肉の照焼きなど数種類、手話を交えながら調理し、楽しく試食をしました。料理で使う手話のほか、参加者の名前や出身地などの手話を学習し、障がい者に対する理解を深める時間になりました。



# あづま支所だより

## あづまボランティア会からチャリティーバザーの報告

11月3日の文化の日、あづま地区公民館祭においてチャリティーバザーを行いました。今年は、箱島・岡崎地区の皆様にご提供いただき、88,500円の売り上げとなり、すこやかセンター福寿草で使用する車いすを購入させていただきました。ご協力いただきました多くの皆様へ感謝申し上げます。

## お茶会を楽しむ

1月20日、21日の2日間、すこやかセンター福寿草でお茶会を行いました=写真。なかには「この年で初めて経験できてよかった」とか、「毎年お世話になっているので覚えてよ」との声も聞かれました。また、自分でお茶をたてて飲まれた方もいました。



## 東地区奉賛会よりお知らせ

本年度も東地区皆様のご協力により128,000円の奉賛会費をお預かりすることができました。ご協力ありがとうございました。これにより4月28日、東地区慰霊祭を実施いたしました。



# 善意のご寄付ありがとうございました。

平成26年10月～27年3月まで（敬称略・順不同）

*齋藤益二郎 様	手ぬぐい	50枚	*鳥山 たけ 様	生活用品	多数
	風呂敷	20枚	*永田美代子 様	衣類	12点
*角田 たけ 様	広告紙のゴミ入れ	825枚	*唐澤 照昌 様	シルバーカー	2台
*佐藤 秀子 様	トイレトペーパー	60ロール	*伊能かずゑ 様	鉢植え	4鉢
	ティッシュペーパー	25個	*青木 貞夫 様	竹トンボ	10本
*奥木タカエ 様	シルバーカー	1台	*萩原 きよ 様	生活用品	多数
*小池 典子 様	台フキン	5枚	*福原いく子 様	使用済みタオル	100枚

デイサービスすこやかセンター福寿草のために活用させていただきます。

※ご希望により掲載されていないご寄付もあります。

# お任せください シルバー人材センター!!

シルバー人材センターでは除草・草刈りなどの一般作業や伐採・剪定・塗装などの技術作業など、さまざまな作業を請負っております。まずは、お気軽に仕事内容や詳細についてご相談下さい。

## 会員募集 60歳以上の方 お仕事 始めてみませんか?

あなたの長年の経験や知識を活かし、自分のペースで無理なく働くことができます。余暇を有意義に過ごしたい方、地域社会に役立ち、仲間と汗を流してみませんか？  
入会方法や詳細については、事務局までお問い合わせください。



町シルバー人材センター  
☎68-0135 担当：上原

### 〔剪定研修会開催〕

2月24日、会員を対象に研修会を開催しました。14名の方が参加し、会員講師による講義と実技を通して、剪定作業についての知識と技術、安全な就業のための作業などを学びました。また、会員同士の交流の場となり、意識の高揚や仲間づくりにつながりました。



▲松の剪定（実技）

## エコキャップ運動は続けます。

町社協では、NPO法人「エコキャップ推進協会」を介してエコキャップ運動を展開してまいりました。この運動は、ペットボトルのキャップを集めてリサイクルすることで、途上国の子どもにもポリオワクチンを送ろうというものです。ところが先月、エコキャップ回収により集められた寄附金がNPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会（JVC）」へ支払われていなくなりました。これが判明してエコキャップ推進協会では、これまでの不適切な対応を謝罪するとともに、今後は使い道の方向転換を図ると表明しております。

これを受け町社協では、エコキャップ推進協会への寄付を中止し、今後はさいたま市にあるNPO法人「キャップの貯金箱推進ネットワーク」を通じてJVCへ寄付を行っていくことにいたします。したがって、エコキャップの回収は今までどおり継続されますので、よろしくお願いいたします。

### 340人分のワクチンに!!



昨年度のエコキャップ回収量は680kgで、これは340人分のワクチンに相当します。皆様方の温かい心に感謝申し上げます。分ければ資源、混ぜればゴミ!

- 人事異動（4月1日付）
- ▽事務局長 加辺光一（町職員再任用・派遣）
- ▽前事務局長・橋爪克敏は派遣を解かれ町保健福祉課長へ昇任
- 【退職】（3月31日付）
- 福原悦子（ティサービスセンター 水仙）